

# ビジョン

## 世界をリードして100年。 常に「次の時代」を 支えています。

安川電機は1915年の創業以来、  
「電動機(モータ)とその応用」を事業領域に定め、  
その製品・技術により常に時代の先端産業を支え続けてきました。  
「モートルの安川」から「オートメーションの安川」、  
そして世界共通語となったメカトロニクス\*という概念を生み出し、  
「トータルソリューションの安川」へと進化してきました。  
現在は少子高齢化や環境エネルギー問題、産業の高度化などの課題に対し、  
コア技術の進化とオープンイノベーションの融合により  
その解決に取り組みながら、社会に対し新たな価値を提供し続けています。

\*「メカトロニクス」は1960年代後半に「お客様の機械装置と当社の電機品を融合し、  
より高い機能を発揮できるように」との考え方から、安川電機が世界に先駆けて提唱した言葉です。

### 経営理念

当社の使命は、その事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献することにある。  
この使命達成のために、つぎの3項目を掲げ、その実現に努力する。

- 1 品質重視の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること。
- 2 経営効率の向上に努め、企業の存続と発展に必要な利益を確保すること。
- 3 市場志向の精神に従い、そのニーズにこたえるとともに需要家への奉仕に徹すること。

## 中長期の経営計画

### 長期経営計画「2025年ビジョン」

安川グループの次の100年を見据え、その最初の10年間の成長戦略を描いた「2025年ビジョン」。エネルギー消費の拡大による環境問題の深刻化と急速に進化する情報通信技術による生産現場の大変革を経営環境の前提に据え、「コア技術の進化とオープンイノベーションの融合により新たな商品・サービスを生み出し、社会に対し新たな価値を提供する」ことを目標にしています。

#### 2025年度数値目標

売上高	2015年度(4,113億円)比2倍以上
営業利益(利益率)	1,000億円以上(10%以上)
配当性向	30%以上 (2020年までに段階的に30%まで引上げる)
ROE	13%以上

### 中期経営計画の位置づけ



### 「Dash 25」の概要

2016年度にスタートした中期経営計画「Dash 25」は、「2025年ビジョン」実現のための最初のステップとして、スタートダッシュの意味を込めて策定しました。「前中期経営計画『Realize 100』の成果最大化」、「長期経営計画『2025

年ビジョン』実現に向けた基盤構築」、「Clean Power 事業のコア事業化」の3つの基本方針を軸として、売上高4,500億円、うち新規事業で売上高400億円、営業利益率10%を目指しています。